

受賞おめでとうございます

【神奈川県知事表彰】

●永年勤続功労消防団員（20年）

第1分団 班 長 宇井 秀明

【川崎市市長表彰】

●永年勤続功労消防団員（15年）

第1分団 部 長 西田 治

第2分団 部 長 吉岡 雅之

団 員 中間 邦之

第3分団 団 員 上野 泰弘

第4分団 班 長 榎本 伊助

班 長 角田 健三

●優秀消防分団

第1・4分団

●退職消防団員功労者表彰

元第4分団 部長 藤田 昇良 様

【消防団長表彰】

●特別功労消防団員

第4分団 団 員 竹島 輝

●優良消防団員

第1分団 団 員 生方 清

第2分団 班 長 沼澤 貴能

第3分団 団 員 遠山 直樹

第4分団 班 長 角田 健三

●優良消防分団

第4分団



藤田さんお疲れ様でした

平成26年秋の叙勲・褒章

受賞おめでとうございます。

元本団消防部長

佐野 久雄 様

（瑞宝章光章）

現消防副団長

上田 常晴 様

（藍綬褒章）



第3分団器具置場シャッターにラッピングPR

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。

資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

・特別職の公務員として活動中の負傷などは
公務災害として補償されます。・班長以上の階級に3年以上あった団員は
防火管理者の資格を得ることができます。問合せ先 幸消防署予防課 電話 (511)0119
FAX (544)0119

編集後記

幸消防団だより五十五号をお届け
します。
発行に当り、関係各位のご寄稿に
深く感謝致します。
発行責任者 高橋 克明
編集 幸消防団広報部
広報部長 幸 藤 重 春
第一分団 木村 雅 子
第二分団 坂井 幸 一
第三分団 沼澤 貴 能
第四分団 小原 幸 子
青木 真 弓
小林 範 彦

発行 平成27年2月

川崎市幸消防団

団長 高橋 克明

印刷所 (株)川崎三省堂

題 字：山田 吉三郎

幸消防団だより

輝かしい新年を迎え

幸消防団 団長 高橋 克明

新年明けましておめでとうございます。

本年が団員の皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

皆様には、平素から郷土愛護の使命を胸に消防団活動に邁進され、昼夜を問わず区民の安全・安心を守るためご尽力頂いておりますことに深く感謝を申し上げます。

昨年を顧みますと、幸区内におきましては火災件数も41件と前年より2件減少し、台風などの自然災害による被害も無く、平穏な一年でありました。一方、御嶽山噴火による戦後最大の人命被害が発生するなど、日本各地で自然災害が猛威を振るいました。さらには近い将来の大規模地震の発生が懸念されており、ますます防災の要となる消防団への期待が高まることが必至です。

しかしながら、全国的にも消防団員が減少しており、幸消防団においても定員183人のところ、実員が157人と26人の減員となっております。

昨年は、消火ホースキットの町内会説明時に皆様にも協力いただき、消防団員の募集を呼びかけていただきました。本年も引続き、団員の定数確保に向けて、町内会・自治会、さらに地元企業に対しまして、消防団員募集の働きかけをお願いいたします。

結びに、私たち消防団員は、一致協力して、地域の安全・安心のために、精一杯励む所存でございますので、地域の皆様より一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、消防団員及びご家族皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶といたします。



消防出初式で団長の謝辞



団長から表彰状と記章の授与

消防団
三原則
一、隣保共助
一、郷土愛護
一、犠牲奉公

輝かしい新春に向けて

幸消防署 署長 村上 公憲

新年おめでとうございます。

幸消防団の団員をはじめ、ご家族の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

先般、1月11日の幸地区消防出初式では、幸消防署と幸消防団の一体となった消防力を、地域の皆様にご披露し、防火・防災に向けた消防の意気込みを、しっかり伝えることができ誠にありがとうございました。

さて、昨年は日本各地で自然災害が猛威を振るい、広島市の土砂災害や戦後最大となった御嶽山の噴火災害など、多数の尊い人命と財産が失われたところであります。

消防署管内におきましては、自然災害の発生も無く、また火災件数も減少するなど、比較的平穏な1年となりました。団員の皆様方の努力の賜物であります。改めて感謝と御礼を申し上げます。

一昨年末に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、消防団の重要性が明記されました。本法律の趣旨の実現に向け、消防局では消防団員の教育訓練や装備等の充実強化について、検討を重ね取り組んでいるところです。

こうした中で、本年も、幸消防団とともに、安全で安心して幸せに暮らせる幸区を目指して地域に密着した消防対策を積極的に推進して参ります。

おわりに、幸消防団の今後益々のご発展とご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



出初式での署長式辞



園児へ記念品贈呈

各分団長抱負



第1分団 分団長
細谷 三康

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

さて、昨年は深刻な自然災害に見舞われた1年でした。また、今後30年以内に震度6以上の地震に襲われる確率は、お隣の横浜市が78パーセントと最も高いというニュースも入っております。消防団は万が一に備え特別機動部隊の発足や災害想定救助訓練も行っております。

今年も消防団一同、日々訓練に励み、皆様のために精一杯活動してまいります。



第2分団 分団長
塩澤 秀夫

新年おめでとうございます。

旧年中は、皆様方に熱きご愛情を賜り、誠に有難うございました。

さて、今年の緊急課題は団員の確保です。これを最優先で取り組み、団員が確保できましたなら、訓練等の活動を通して【心・技・体】を身に付けさせ、区民の皆様にあえられる団員に育て、安全・安心の町づくりに頑張ってもらいます。

皆様のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、年頭の抱負といたします。



第3分団 分団長
松井 満

あけましておめでとうございます。

本年も「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で、区民の皆様の安全安心のため日々訓練していきます。そのためにも地域の皆様のお力をお借りして、減少傾向にある消防団員の確保に取り組んでいきます。

また本年も火災出動のみならず、火災予防啓発にも力を入れ団員一丸となって活動してまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。



第4分団 分団長
村石 勉

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え、分団の課題を解決すべく誠意努力していく所存でございます。昨年5人の新入団員を得て若返りを図ることができ、分団の機能強化に向けて育成、訓練を充実していくとともに、ベテランから新人までへのスムーズな連携、引継ぎができる様に、一体感のある第4分団を目指し努力していく所存です。

今後ともご指導ご鞭撻をお願いするとともに、皆様のご健康とご多幸を祈願しまして年頭の抱負とさせていただきます。

平成26年度 幸消防団活動状況

「教訓を 生かして備える 大災害」

(平成27年川崎市消防出初式統一標語)



警防技術確認訓練



ラゾーナでの消防フェア



出初式における消防団員による一斉放水



文化財防火デー訓練